

知事臨時記者会見

■日時 令和3年7月24日（土）15:30～15:50

■会場 応接室

【質問事項】

1 新型コロナウイルス感染症への対応について

【記者】

今回、郡山市を対象とした集中対策については、これまでより、感染状況がひどくならないうちに対策を打っているという印象があります。これまでと違う判断をされているところがあれば伺います。

【知事】

まず、いただいた御質問にお答えする前提として、県内の感染状況について説明をした後で、今の質問にお答えしたいと思います。

現在、県内の感染状況を示す五つの指標、七つの区分は、「確保病床の使用率」、「感染経路不明割合」の二つがステージ3、それ以外がステージ2以下となっています。

ただ、ステージ3となっている「確保病床の使用率」については、29.4%と先週より若干増えており、さらに、入院調整中の方もおられます。その方を加味しますと、31.5%まで（数字が上昇し）、30%を超えるレベルになっています。

そして、もう一つ大切なのが、療養者数、PCR陽性率、新規陽性者数、これら全てが、先週よりも悪化していることです。

したがって、全体としては、ステージ2相当という判断をしていますが、同じステージ2相当でも先週より状況が厳しくなっているということが、県全体の数値としてあります。

そして、この県全体の数値が悪化している最も大きな理由は、やはり郡山市における新規感染者数が、急激に増加をしているということが（要因として）あります。

特に、この3～4日間を見ますと、7月20日が14名、7月22日が15名、そして7月23日が12名となっており、これまで（新規感染者数は）1桁が続いていたのですが、突然2桁レベルとなり、それが続いている状況です。それに伴い、「10万人当たりの新規感染者数」が18.38人で、ステージ3の15人を超えるという状況になっています。

また市町村別の陽性者数は、7月23日までの間で見ますと、郡山は32.8%ですが、この（直近の）3日間だけをとりますと、54%となり、郡山市のみで半分以上を占めています。

さらに、郡山市における接待を伴う飲食店（を起点とした感染）が、7月23日までの間では27%ですが、この3日間は、接待を伴う飲食店と飲食店を合わせて46%となっており、ほぼ半数が飲食由来の感染という状況になっております。

さらに、確保病床の使用率は、県中地域では、表面的には46.5%となっておりますが、実際には、広域調整で（県中地域）外の医療圏である、会津やいわきに患者の受け入れをお願いしております、それを含めると、実質62.4%ということで、極めて高いレベルでの病床のひっ迫率になってきているというのが、郡山市の現状です。

これまで、ステージ4レベルになってから（要請をかける）という方法も一つのやり方としてありましたが、率直に言いますと、南相馬市、会津若松市は比較的人口規模が少ない自治体であり、また当時（南相馬市や会津若松市に発出した際）は、L452R（デルタ株）がありました。

ただ今回の郡山市は、人口規模が中核市で大きいということ、さらに、東京都との関わりが非常に強い（地域）です。御承知のとおり、東京都を含めた首都圏は、この1、2週間で（新規感染者数が）激増しています。この影響を東北新幹線や東北自動車道などを通じて、直接影響を受ける可能性が高いのは郡山市であります。

したがって、こういったL452Rのような変異株が、今、福島県内で劇的に増えてきていることや、郡山市が、東京都を始めとした首都圏の影響を受けやすいこと、さらには、先ほどお話し

したように、病床のひつ迫率は、一旦上がり始めると、あつという間に（病床が）埋まつていきますので、こうした状況等を勘案すると、「早く、強く」手立てを打つことが重要だと考えております。

そのため、今回、郡山市の品川市長からも、今日の段階で、是非、県として、より強い対策を講じて欲しいとの要請を受けておりますので、福島県としても、より早いタイミングで手を打ちたいと思っております。

特に、今日のこのメッセージで大切なことは、既に、夏休み期間に入つておつり、どうしても人流が増加します。旅行や帰省、または、買物等にも行きたいかもしれません。このように、人の流れが強くなる時期でもありますので、今回も4連休の中の土曜日、皆さんにこうやって（集まつていただき）御手数をかけて申し訳ない部分もありますが、できるだけ早く、郡山市民の皆さんと事業者の皆さんに、今の厳しい状況を御理解いただきて、今回、3週間程度の期間、しっかり対策を行うことで、早期に鎮静化させたい、こういった考え方の下で、今日、お話をさせていただいております。

【記者】

時期を見ると、お盆の時期が含まれているので、対策によって全体的な人流は抑制されるだらうと思う反面、郡山市でお店がやっていないのであれば、福島市に行こう等、範囲を広げた人流が出てくる恐れもあるかと懸念します。あまり強い対策はとりたくないという思いを共有する中で、そういった懸念への対応を伺います。

【知事】

まず、福島県全体で言いますと、現在は、ステージ2相当で推移していますので、直ちに全県的に時短要請をかけるといった、5月の非常事態宣言時のような状況とは異なると思います。

ただ、やはりエリア限定で見ますと、つい先日までの南相馬市であつたり、今回の郡山市は明らかにその地域で、急激に状況が悪化している動向が見られますので、県独自の措置を「早く、強く」打つことによって、エリア限定で抑えていきたい、というのが我々の基本的な考え方であります。

また、郡山市は、今後、事業者の皆さんが（時短要請に）協力をしていただきますと、一部（の客が）当該エリアを超えて移動するということも、もちろんゼロではないと思います。

ただ今回、郡山市において、こういった時短措置を講じることによって、県中地域全体でも緊張感を持って、しっかりと感染対策をしなければいけないという意識を、皆さんに持つていただけるものと思います。

また、郡山市で飲もうという方が福島市まで来て飲むというのは、一般的には余り無いのではないかと思います。福島市と郡山市間は、新幹線や車で移動する距離ですので、そういう意味では、むしろ県中エリアの方が、今、お尋ねのあったような点を懸念する可能性としてはあるかと思います。

ただ、いずれにしても、こういった強い制限・制約というものは、むやみやたらとかけるべきものではないと、私共も考えておりますので、まずは地域限定で、（先ほど御指摘があつたとおり、従前よりもL452Rの影響があることもありますが、）より早く講じることによって、より早く鎮静化させて、県内の感染対策防止と県全体としての地域経済の維持・再生、この両立を図つていければと考えております。

【記者】

時短要請に関して、既に首都圏では確認されている傾向だと思いますが、オリンピックが始まつて、断続的に要請があることで、もう（時短要請には）協力出来ないという事業者さんからの声が出てくる可能性もあると思います。そういった人たちの声を、どのように受け止めるのか、また、そういう人たちにも（思いを）届けるために必要なことについて、考えを伺います。

【知事】

本県におきましては、これまで、非常事態宣言や、政府が発する緊急事態宣言に基づく時短要請等、昨年から1年4か月ほどの間に講じてまいりました。その間、(県内の)事業者の皆さんには丁寧に協力の方向性というものをお示しして、一定の御理解、相当程度の御協力を頂いてきたと考えております。

首都圏においても、飲食店等の方が非常に御苦労を重ねて、もうさすがにこれ以上は中々大変だという報道も拝見しております。一方で、御承知のとおり、東京を含む首都圏は、緊急事態宣言とまん延防止等重点措置が、ずっと継続している、白地の時間帯がほとんど無いという状況であります。

それに対して、福島県においては、必ずその合間、合間で、感染対策に御協力を頂きながら、通常の営業ができる期間を挟んでおります。また、今回、郡山市は特殊な状況にありますので、こういった点を丁寧に御説明しながら、事業者の皆さんとの御理解を頂いていきたいと思います。

また、今回、例えば最近の会津若松市や南相馬市でも同様に、当該自治体と県の地方振興局の職員等が一緒に、1軒1軒の店舗を回らせて頂いております。こういったことを、昨年は実施していましたが、今年に入り、1軒1軒の店舗に実際に伺って、丁寧に説明するということをやっております。今回も、市と県が協力し、それぞれの(店舗の)方々に、なぜ今こういった対策が必要なのかについて御理解を頂いて、3週間という期間の中で乗り切り、また再度、通常ベースで店を再開できるように力を貸していただけませんかというお話を、きめ細かに伝えていきたいと考えています。

【記者】

郡山市の接待を伴う飲食店が、感染拡大の一因にもなっていると思いますが、今回の集中対策について、接待を伴う飲食店のみに限定するという考えは無かったのかについて伺います。

【知事】

まず、郡山市では、今月入ってクラスターの発生が4件あります。そのうち2件が、いわゆる飲食店です。接待を伴う飲食店は、どうしても距離が近い、あるいはマスクの有無という問題もありますので、傾向として、感染(しやすい)度合いが強いという部分ございますが、これまで本県において、県独自の対策を行う際は、接待を伴う飲食店及び酒類を提供する飲食店を必ず対象として、時間短縮要請をかけ、それによって(感染拡大を抑えるという)結果が出ています。この県独自の措置を講じることにより、例えば南相馬市だとかなり早いタイミングで感染が鎮静化しております。率直に言いまして、感染経路不明割合においても、飲食店由来というものが、一定程度、有り得ると考えています。

したがって、従来と同様に、接待を伴う飲食店と酒類を提供する飲食店、これをセットで(要請を)かけることが、効果をより早急に出すために重要だと考えております。また、こういうやり方は、他の県も同様であります。私の知る限りでは47都道府県で、接待を伴う飲食店だけに時短要請をかけた事例はないと考えております。

【記者】

確認ですが、今回、時短要請をする酒類を提供する飲食店に関して、カラオケとかライブハウスは含まれるという認識でよろしいか伺います。

【知事】

はい。従前と同様でありますが、この後、事務方から、より詳しくブリーフィングしますので、そこで今のお話を明確にお伝えしたいと思います。

【記者】

感染防止対策が第一というのを踏まえてですが、夏休みに入ったということで、観光事業者や

県民からは、県が予算を確保している「県民割プラス」のスタートを心待ちにしているとの声もよく聞かれます。今回、郡山市で集中対策になると、中々（県民割プラスの）スタートが見通せないのではないかと思いますが、それについてのお考えを伺います。

【知事】

先般、6月県議会において、県民割プラスという新しい観光振興のための予算措置について、相当大きな金額で確保しました。

感染拡大の防止も、もちろん大事ですが、地域経済の維持・再生も福島県政にとって大事な課題ですので、是非、両立したいと考えています。特に県民割ですと、他県のお客様を呼び込むのではなく、県民同士ですので、ある程度、感染防止対策を行いながら、地域経済の維持が図れるだろうという思いで用意しているのですが、御承知のとおり、南相馬市に対し地域限定ではありますが時短要請をかけ、また今回は、郡山市という県の中心部で、他のエリアへの波及も非常に大きい地域に対し、時短要請と市民の皆さんへの外出自粛をかけざるを得ないという状況になっています。

さらに夏休みで、元々、人流が増えてしまう時期でもあり、本当は県民割プラスを発動させたいという思いが、私の中には間違いないあるのですが、南相馬市、郡山市、さらには首都圏の状況と近県の状況、L452Rの状況等を見ますと、いつから（県民割プラスを始める）ということが、中々言いづらい状況にあるというのが率直なところであります。

【記者】

2点伺います。まず1点目が、今回、21日から23日の間、郡山市でこの3日間、感染者が増えているということですが、どういったことが要因として考えられるかということについて伺います。

また、今回の対策の期間について、3週間設けていますが、今後の状況によっては延長（もあり得るのか）ということに関して、どのようにお考えなのか伺います。

【知事】

この数日間、県と郡山市、また郡山市の保健所、また私と郡山市長の間でも正にそういったお話をしているところでございます。

今回、接待を伴う飲食店（を起因とした感染）が、3日間、明確に出ておりますが、それ以外にも、相当程度、L452Rの影響（が出てきていると思われ）、結果を分析しないと明確には言えませんが、おそらく首都圏との往来、福島の方が行って戻ってくるというパターンもありますし、逆に首都圏の方が福島に来ているという中で、感染対策はそれぞれ講じていただいていると思うのですが、御承知のとおり、アルファ株に比べて、デルタ株の感染力は明らかに強いため、お互いうつてしまい、それがまた職場内であったり、家庭内で感染するということが起こっています。

したがって、「従来と同じように感染対策をしているから大丈夫だろう」と思いがちですが、県民の皆さんに分かっていただきたいのは、まだL452Rが（県内に）入ってきてから2週間経っていない、まだ10日くらいです。それまではゼロでした。しかし、今、福島県内どこにでも、L452Rが当たり前に、すぐそばに有り得るという危機意識を持っていただくことが肝要です。

もう1点のポイントは、アルファ株とデルタ株で違う対策が必要かというと、そんなことはなく、同じ対策を講じる必要があります。ただ、そこには漏れがないように、例えば、鼻マスクをしないとか、飲食中に話す際、マスクを外したままで話してしまうとか、こうしたことがどうしても（感染防止の）穴になってしまいます。あるいは、自動車の中で会話をしていてというパターンも十分、有り得ると思います。

これが従来株であればうつらなかつたのかもしれません、今のL452Rになると、そういう中でも十分に感染し得る可能性がありますので、やはり基本的な感染症対策を徹底するという

ことを、是非、(報道の) 皆さんのお力もお借りしながら、県民の皆さんに、特に人流が多い夏休みだからこそお伝えすることができればと思っています。

また、これからお盆の期間を迎えますが、今、県では、大変申し訳ないのですが、帰省や旅行を原則として中止していただくようお願いしております。

それでも御家族が来られるという場合も当然あると思いますが、その場合には、特にマスクを外して会話をしたり、食事する時は、これまで以上にリスクが (L 4 5 2 Rによる影響で) 有り得るということ、この点も是非、御承知いただければと思います。

(終了)